

聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL. 6

八女提灯協同組合 理事長 伊藤 正之 氏



八女市本町で(資)マル正伊藤本店を営む伊藤理事長に、八女提灯協同組合の活動状況や八女提灯の特徴等についてお聞きしました。

伊藤理事長は、父である前社長から制作工程における様々な技術を学び会得されており、伝統的工芸品としての価値を高めながら八女提灯を次世代につなげたいという強い思いが伝わりました。

八女提灯の歴史や組合についてお聞かせください。

1813年(文化10年)頃、八女郡福島町の荒巻文右衛門によって作られた場提灯が起源と言われています。場提灯は、山茶花や牡丹の文様が単色で描かれた素朴なもののようなのです。

組合員は、当初20軒程ありましたが、時代の変化とともに、今は10軒に減少しています。

組合としてどのような活動をされていますか。

毎年9月に福岡市で開催される福岡県伝統的工芸展に参加し、八女提灯のPR活動を実施しています。本年は、6月5日～8月7日に八女伝統工芸館で展示、販売を行っています。

八女提灯の特徴についてお聞かせください。

生産量の大半は盆提灯ですが、中でも部材に竹ひごや八女手すき和紙に加え、漆や木材が用いられる伝統的工芸品が一番の特徴です。

どのような新商品が開発されていますか。

若い方にも興味を持っていただくようにミニ提灯、LEDを使ったものやギフトにも使える商品など、これからのニーズに合った開発に取り組んでいます。

今後の目標について教えてください。

組合員にとって、何かメリットがあるような魅力ある組合を目指しています。例えば、ふるさと納税のお礼品として、各組合員から提案することがメリットになればと考えています。

また、QRコード等を使って提灯の制作工程などを公開しようと考えています。

市議会に対してメッセージをお願いします。

全てにおいて、スピードをもって行動していただきたいと思います。

また、組合にとって有利な補助金の情報等を提供いただくとありがたいですね。

議会を傍聴しませんか? 次回定例会

8月25日(水)予定
立花庁舎議場 午前10時から
八女市議会事務局23-4922



スマートフォンやタブレット端末で
議会中継を見ることができます

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>
インターネットから「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック!

編集後記

米紙フシントン・ポスト7月9日付は、東京五輪開催について「安全・安心」な開催をうたう国際オリンピック委員会を批判し、コロナ感染が拡大しても100%が法的責任を問われない仕組みを告発しています。選手に対しては「自己責任で参加」の同意を求めるなど全て自己責任となってしまう。これでいいのでしょうか。

松崎 辰義

発行責任者 議長 長 角田 恵一
議会だより編集委員会
委員長 高橋 信広
副委員長 大坪久美子
委員 松崎 辰義
委員 栗原 吉平
委員 牛島 孝之
委員 堤 康幸
委員 田中 栄一
委員 川口 正信
委員 高山 信

